



# 冬休み (12月24日~1月7日) のねらい

本校では、冬休みのねらいを4つ掲げています。

## ◇ 自分が立てた計画にしたがって、主体的に行動させる。

「主体的に行動させたい」といっても、その場を作ってあげたり、その経験をさせてあげたりしないと、主体的に行動するという態度は形成されていきません。また、子どもが主体的に行動したことに対して、認めてあげたり、ほめてあげたりすることによって、「やってよかった。」「ほめてもらえた。」「またやるぞ。」という意欲がわいてくるものだと思います。

学校では、発達段階に応じた「冬休みの計画」を子どもたちに立てさせます。その中には、主体的に行動できる場面を意図的に設定してまいります。ご家庭では「冬休みの計画」をもとに、子どもたちに主体的な行動が見られた場合は、認め、大いにほめていただけるとありがたいです。学習面ばかりでなく、お手伝いなどの生活面などにも気を配っていただけるとありがたいと思います。

## ◇ 学校では得られない経験をさせることによって視野を広げ、さらに個性の伸長を図る。

子どもたちは、学校を離れて15日間というまとまった休みを過ごすことになります。その間、旅行に行ったり、スポーツ少年団活動に取り組んだり等、学校では得られない経験をするチャンスがあります。各自の個性の伸長のためには、とても、有意義な時間となることを願っています。

遠くに行ったりすることばかりでなく、職場見学や体験をしたり、家事のお手伝いをしたりするなど、普段できにくいようなことに取り組ませるのも大切なことだと思います。

## ◇ これまでの学習を振り返り、不十分なところを補ったり得意なところを伸ばしたりする機会とさせる。

3学期は、本当に短い期間となります。学年のまとめや振り返りなどもしますので、実質2学期までで新しい学習は終わっているのだという気持ちぐらいでいた方が良いでしょう。(6年生などは、小学校の学習の総まとめ的な部分もあるので、余計にそう感じますし、中学校進学への準備という部分で気ぜわしいところもあります。)

短い期間ですが、今の学年で学んだ内容は今の学年のうちに理解させたいものです。学年が上がるにつれて学習する量も増え、質も深くなることから、この冬休みを使って理解が不十分なところはなくしてほしいと思います。

学校からの課題だけではなく、余裕があれば、自分から進んで学習を進めるということも大切なことだと思います。

## ◇ 成長段階に応じて、家庭や社会の一員として生活経験を積ませる。

クリスマスやお正月等の家族の一員としていっしょに楽しむことのできる行事が続きます。その際は、子どもたちにも、家族の一員としての何らかの役割を与えていただければありがたいです。

例えば、大掃除などは子どもたちでもできることがたくさんあるのではないのでしょうか。この機会に、仕事を分担しながら家族みんなで大掃除をしてみたいかでしょうか。一緒に大掃除することで、家族の一員としての満足感を子どもたちも得ることができることでしょう。

コロナ禍ということもあり、社会の一員としての生活経験を積ませるということではできにくいように感じますが、できる範囲で様々な経験をさせていただければありがたいと思います。

